

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 3 生涯を通じた心身の健康づくり
 取り組みの方向 (1) 男女の性と人権尊重の理解の促進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

021	事業名	性と生殖に関する健康と権利についての講座の開催	課所 事業費	男女共同参画支援センター 70,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民に、性と生殖に関する健康と権利についての意識の普及・啓発を図る。		性と生殖に関する健康と権利についての講座を他機関と協働で開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 埼玉県立大学との協働により、正しい性情報や性の多様性について理解するとともに、性をめぐる子どもとのかかわり方や子どもに関する悩みを解消するためのヒントを提供する講座を実施した。2/3「子どもに伝える性～幼少期から思春期までのかかわり方～」				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標> 80 % <実績> 100 %		<目標> 80 % <実績> 98 %		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数57人(女性54人、男性2人、その他1人) 募集人数:50人		「講師の体験談や出産のビデオなど、興味深い内容が多かった」「性の伝え方の基本は親子関係のなかで築いていくことを理解した」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		子どもがネット等を通じて、簡単に性情報とつながれるなか、子どもに正しい性情報を伝えることの社会的意義を訴えるために、性教育をテーマにしたのは時宜になっていた。子どもに対する性教育や伝え方に不安を感じる保護者に対し、実践的に役立つ情報提供ができた。		
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

022	事業名	性の多様性の理解促進に関する講座の開催	課所 事業費	男女共同参画支援センター 30,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民に、性の多様性の理解を促すとともに、互いに尊重し合う意識の啓発を図る。		性的少数者の問題等への理解を深める講座を開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 LGBT当事者の家族としての葛藤や悩みを聞くことで、性の多様性やLGBTへの理解を深め、LGBTの支援者を増やすことを目的とした講座を実施した。10/14「LGBT当事者の家族の話を知ろう」				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標> 80 % <実績> 85 %		<目標> 80 % <実績> 96 %		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:34人(女性24人、男性6人、その他4人) 募集人数:40人		「当事者の思いやカミングアウトされた家族のゆるる思い、考え方を知り、『もしも相談されたら』という注意事項の大切さが理解できた」「当事者の家族の話に感銘を受けた。誰もが生きやすい、優しい社会になるよう私自身ができることを1つ1つ積み重ねていきたい」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		当事者を家族にもつ参加者から「講話が大変参考になった」との声が寄せられ、社会にLGBTへの偏見や誤解が根強く残る現状がある中で、LGBTへの理解促進とともに、当事者とその家族に対する支援にもつなげることができた。		
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 3 生涯を通じた心身の健康づくり
 取り組みの方向 (1) 男女の性と人権尊重の理解の促進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

023	事業名	生涯を通じた女性の健康に関する講座の開催	課所	市民健康課	事業費	59,500円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
市民に、生涯を通じた女性の健康に対する意識の普及・啓発を図る。			生涯を通じた女性の健康に関する講座を開催する。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 「40代から50代を迎える貴女に『Ki・Re・I』のススメ～更年期と上手く付き合おう～」をテーマに、医師による講座「自分のカラダと向き合おう!」の他、各種専門職による講座(全4回)を行った。						
【活動実績(活動指標)】			【取り組みの成果(成果指標)】			
参加率			満足度			
<目標> 50 % <実績> 37.1 %			<目標> 90 % <実績> 90.4 %			
達成度 3 (達成まで今一歩)			達成度 5 (十分に達成できた)			
女性を対象とした講座 参加人数:65人(51人(4回コース)、14人(公開講座)) 募集人数:175人(40人×4回(4回コース)、15人(公開講座))						
事業の評価						
C (より積極的な取り組みが必要)			4回コースとしての参加者の他に、専門性の高い1回目(医師の講話)と4回目(大学教授の講話)を一般公開講座とし、4回の出席が難しい方へ参加しやすい配慮を行った。定員を30人から40人に増やしたが、目標設定時の定員を基準に参加率を計算すると48.1%であった。			
<H29実績> C						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
4回コースの申込者のうち、4回全て参加した方が少なかった(3人)			定員を再度検討する。 内容やタイトルを工夫し、積極的にPRを行う。			

024	事業名	女性特有の疾病の予防・啓発(乳がん)	課所	市民健康課	事業費	78,420,521円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
妊娠・出産等、男性とは異なる身体機能に由来する女性の健康上の問題についての適切な対応を図る。			乳がん検診を実施する。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 対象:35歳以上の女性で偶数(2・4・6・8・10・12)月生まれの方、平成29年度未受診の方、がん検診推進事業(無料クーポン券発行)対象の方 内容:問診、視触診、マンモグラフィ(X線)検査						
【活動実績(活動指標)】			【取り組みの成果(成果指標)】			
受診者数			受診率			
<目標> 8,850 人 <実績> 7,909 人			<目標> 25.0 % <実績> 23.3 %			
達成度 4 (概ね達成できた)			達成度 4 (概ね達成できた)			
受診勧奨通知を75歳までの方に送付した。がん検診推進事業の対象者には無料クーポン券を発行した。			受診率については、2年連続受診者を差し引いて算出することになっている。			
事業の評価						
B (概ね順調に取り組んでいる)						
<H29実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
2年に1回の受診機会を継続的な検診につなげるため、勧奨を行う必要がある。			個別検診の開始前に勧奨通知を送付する。			

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 3 生涯を通じた心身の健康づくり
 取り組みの方向 (1) 男女の性と人権尊重の理解の促進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

025	事業名	女性特有の疾病の予防・啓発(子宮頸がん)	課所	市民健康課	事業費	62,112,874円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
妊娠・出産等、男性とは異なる身体機能に由来する女性の健康上の問題についての適切な対応を図る。			子宮頸がん検診を実施する。 ※子宮頸がん検診受診者のうち、医師の判断で必要と認められた方に子宮体部がん検査を実施する。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 対象:20歳以上の女性、がん検診推進事業(無料クーポン券の発行)対象の方 内容:問診、子宮頸部・体部の細胞診						
【活動実績(活動指標)】 受診者数 〈目標〉 9,450 人 〈実績〉 9,765 人 達成度 5 (十分に達成できた)			【取り組みの成果(成果指標)】 受診率 〈目標〉 12.3 % 〈実績〉 12.4 % 達成度 5 (十分に達成できた)			
受診勧奨通知75歳までの方に送付した。がん検診推進事業の対象者には無料クーポン券を発行した。			がん検診推進事業(無料クーポン券の発行)の対象以外の若年層の受診者が少ないことが、影響していると思われる。			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)						
〈H29実績〉 A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
がん検診推進事業(無料クーポン券の発行)の対象者以外の若年層の受診者数が少ない。			成人式で新成人に配布するチラシの中に、検診を案内する文章を入れるなど、若年層に対する啓発を行っていく。			

026	事業名	思春期保健講座の開催	課所	市民健康課	事業費	45,000円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
市内の小中学生に、男女の性の違いや命の大切さについての認識を促すとともに、お互いに尊重し合う意識の啓発を図る。			思春期の性や命の大切さに関する講座を開催する。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 市内小学校2校・中学校1校に越谷市助産師会助産師を講師として、学校側の要望に沿ったテーマで思春期保健講座を実施した。①大相模中学校1年生(生徒217人)、②大沢北小学校4年生(児童83人・保護者66人)、③西方小学校6年生(児童130人・保護者72人)						
【活動実績(活動指標)】 延べ参加人数 〈目標〉 ー 人 〈実績〉 568 人 達成度 5 (十分に達成できた)			【取り組みの成果(成果指標)】 理解度 〈目標〉 90.0 % 〈実績〉 96.5 % 達成度 5 (十分に達成できた)			
内訳:児童生徒430人(女性220人、男性210人)、保護者138人 延べ参加人数は、学校の規模によるため、目標を設定しなかったが、中学校1校小学校2校合計3校の希望があり、講座を予定通り開催することができた。			理解できた・ほぼ理解できた、が96.5%という結果だった。授業参観で保護者が参加した学校もあり、親子で命について話し合うよい機会になった、という感想があり高評価だった。			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)						
命の大切さの講話や、赤ちゃんの抱っこ体験など、養護教諭と助産師が事前に打ち合わせを行い、実施することができた。						
〈H29実績〉 A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
養護教諭の考えにより、思春期講座を取り入れるかどうか偏りが見られる。			養護教諭定例会議で説明し、思春期講座の意義を周知し、養護教諭に働きかける。			

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 3 生涯を通じた心身の健康づくり
 取り組みの方向 (1) 男女の性と人権尊重の理解の促進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

027	事業名	男性特有の疾病の予防・啓発（前立腺がん）	課所 事業費	市民健康課 13,383,227円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
女性と異なる身体機能に由来する男性の健康上の問題についての適切な対応を図る。		前立腺がん検診を実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 対象:①50・55・60・65・70・75歳の男性、②①以外の50歳から75歳で前立腺がん検診をはじめて受ける方 内容:問診、血液検査(PSA検査)				
【活動実績(活動指標)】 受診者数 〈目標〉 1,380 人 〈実績〉 2,398 人 達成度 5 (十分に達成できた)		【取り組みの成果(成果指標)】 受診率 〈目標〉 10.0 % 〈実績〉 18.3 % 達成度 5 (十分に達成できた)		
受診勧奨通知を、50・55・60・65・70・75歳の男性に送付した。				
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
〈H29実績〉 A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		個別勧奨通知を継続するとともに、特定健診との同時実施を勧める。		

028	事業名	不妊治療費の助成	課所 事業費	市民健康課 63,631,317円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
男女の異なる健康上の問題に対して適切な支援を行う。		「特定不妊治療」(体外受精・顕微授精)を受けた夫婦に対し、その治療費の一部を助成する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 指定医療機関において実施した、法律上の夫婦における特定不妊治療(体外受精及び顕微授精)に対し、1回の治療につき、治療内容に応じて15万円(初回申請分に限り30万円。さらに、初回の治療開始時における妻の年齢が35歳未満の場合は10万円を上限に上乗せ)または7万5千円を上限に助成した。				
【活動実績(活動指標)】 申請者数 〈目標〉 310 人 〈実績〉 381 人 達成度 5 (十分に達成できた)		【取り組みの成果(成果指標)】 達成度 5 (十分に達成できた)		
広報及び市ホームページに事業内容を掲載し、申請を促した。また、パンフレット及びポスターを作成し、配布した。		特定不妊治療を受けた夫婦に対して、治療費の一部を助成することにより、経済的負担を軽減し、また治療を受ける機会を増大し、男女の異なる健康上の問題に対する支援を行うことができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
〈H29実績〉 A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
平成30年度から早期不妊治療費助成事業(初回の治療開始時における妻の年齢が35歳未満の場合は、治療内容に応じて、10万円を上限に上乗せ助成する)を開始したため、引き続き制度の周知が必要である。		制度の周知を図り、申請を促す。		

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 3 生涯を通じた心身の健康づくり
 取り組みの方向 (2)相談体制の充実

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

029	事業名	女性相談の実施	課所	人権・男女共同参画推進課
			事業費	—
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段	
女性が生涯にわたって心身ともに健康に過ごせるよう、相談体制の充実を図る。			女性の生き方やパートナーに関する悩みの解決を支援するために、専門のカウンセラーが、電話相談及び面接によるカウンセリングを行う。また、必要に応じて関係機関等への同行支援を行う。	
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 女性・DV相談支援センターにおいて専門の女性相談員による面接相談と電話相談を実施した。 [面接・電話相談]月～土:午前10～12時、午後1～4時(第4土曜の午後2～4時は除く) [電話相談]水、金:午後5時～8時				
【活動実績(活動指標)】 相談件数(電話・面接)			【取り組みの成果(成果指標)】	
<目標> 1 件 <実績> 446 件			<目標> <実績>	
達成度 5 (十分に達成できた)			達成度 4 (概ね達成できた)	
予定していた相談時間のとおりに実施することができた。			相談員が相談者に寄り添い、こころや気持ちが少しでも解放されるようなカウンセリングを行うとともに、相談者に対して、市が実施している事業や制度などの支援に必要な情報提供や具体的な取り組みの提案を行うなど、さまざまな問題の解決に向けた支援を行うことができた。	
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H29実績> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
相談者を取り巻く環境が複雑化していることにより、複合的な要因が絡む相談事案への対応が引き続き必要である。			支援に関わる制度や事業等の情報を相談員に継続的に提供するとともに、関係機関との連携を一層強化する。	

030	事業名	女性のための法律相談の実施	課所	人権・男女共同参画推進課
			事業費	—
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段	
女性が生涯にわたって心身ともに健康に過ごせるよう、相談体制の充実を図る。			男女共同参画支援センターにおいて、女性の弁護士が離婚や職場でのセクシュアル・ハラスメントなどの法律上の問題について面接相談を受ける。	
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 「ほっと越谷」相談室において、毎月第4土曜日の午後2～4時に、女性弁護士による法律上の問題について相談を実施した。(DV相談にも対応)				
【活動実績(活動指標)】 相談件数			【取り組みの成果(成果指標)】	
<目標> 1 件 <実績> 12 件			<目標> <実績>	
達成度 5 (十分に達成できた)			達成度 4 (概ね達成できた)	
当初予定した相談時間のとおりに、実施することができた。			結婚、相続、親子、扶養などにおいて、悩みを抱える女性に対して、法律上の視点からアドバイスを行うことにより、相談者の支援を行うことができた。	
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H29実績> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			今後とも適切に事業を実施する。	

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 3 生涯を通じた心身の健康づくり
 取り組みの方向 (2) 相談体制の充実

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

031	事業名	人権相談の実施	課所	人権・男女共同参画推進課	事業費	—
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
女性が抱える人権に関する悩み等に対し、援助及び救済を行うことで、女性の基本的な人権の擁護を図る。			毎月第1・3木曜日、人権擁護委員の日及び人権週間に相談日を設け、人権擁護委員による人権相談を行う。 また、事業の実施にあたり、広報紙等を通じて周知を図る。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 毎月第1・3木曜日(祝日の場合は、翌週)に中央市民会館4階第4相談室において人権相談所を開設したほか、老人福祉センター「けやき荘」で人権相談所を開設した。						
【活動実績(活動指標)】 女性からの相談件数			【取り組みの成果(成果指標)】			
<目標> 1 件 <実績> 1 件 達成度 5 (十分に達成できた)			<目標> 4 件 <実績> 4 件 達成度 4 (概ね達成できた)			
計画どおり人権相談所を開設することができた(年間25回)。なお、相談件数については不開示情報のため、平成30年度から記載しない。			相談体制の整備の継続により相談が必要な方への対応がスムーズに行える。			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)						
<H29実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
より多くの市民の悩みや心配ごとに応じるため、人権相談所の開設をさらに周知する必要がある。			広報等の活用のほか、人権週間や市民まつりなどの街頭啓発活動時に人権相談所の開設の周知を積極的に図る。			

032	事業名	女性の保護・支援	課所	子育て支援課	事業費	0円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
夫以外の家族からの暴力の被害を受けているなど、深刻な状況にある女性に対し、安全の確保・支援を行う。 ※夫や元夫などから暴力を受けている女性については、「No.85女性の緊急一時保護の実施」(P.60)で支援を行います。			女性・DV相談支援センター(配偶者暴力相談支援センター)等の関係機関と連携し、保護・支援を行う。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 被害者が直接相談に来た場合、保護や支援の必要性を吟味した上で、一時保護及び婦人相談センターへの措置を行う。						
【活動実績(活動指標)】 相談・保護件数(延べ)			【取り組みの成果(成果指標)】			
<目標> 1 件 <実績> 0 件 達成度 5 (十分に達成できた)			<目標> 5 件 <実績> 5 件 達成度 5 (十分に達成できた)			
女性の保護・支援を行えるよう体制を整えていたが、相談がなかった。			DV被害者支援の緊急一時保護は3件あった。家族からの暴力等に関する女性の相談に対しては日頃から関係機関と連携し、随時適切な支援が行えるよう体制を整えている。			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)						
<H29実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
特になし。			今後とも適切に対応する。			

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 3 生涯を通じた心身の健康づくり
 取り組みの方向 (2)相談体制の充実

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

033	事業名	母子生活支援施設への入所	課所	子育て支援課	事業費	4,984,481円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
経済状況等により児童の養育に困難を抱える母子世帯への支援を行う。			経済状況等により児童の養育に困難を抱える母子世帯からの相談を受け、必要に応じて母子生活支援施設への入所などの支援を行う。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 児童の養育に困難を抱える母子世帯の相談を受け、母子生活支援施設の入所を支援する。						
【活動実績(活動指標)】 相談・入所件数(延べ)			【取り組みの成果(成果指標)】			
<目標> 1 件 <実績> 1 件 達成度 5 (十分に達成できた)			<目標> 1 件 <実績> 1 件 達成度 5 (十分に達成できた)			
前年度から相談を受け入所しているケースの他に、緊急に保護を要するケースはなかった。			前年度から入所中のケースに対応した。			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)						
<H29実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
特になし。			今後も適切に対応する。			

034	事業名	エイズ及び性感染症の相談・検査の実施	課所	保健総務課	事業費	530,000円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
男女の性と生殖に関する健康上の問題に対して適切な支援を行う。			エイズ及び性感染症に関する相談、検査を行う。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 随時、電話や面接等による相談を実施した。また、第1、第3水曜日の午後、匿名・無料のエイズ・性感染症検査を実施した。他に、保健所や埼玉県立大学で即日検査を実施した。HIV普及週間、世界エイズデーでは、市内駅2か所にて啓発資料の配布などを行った。						
【活動実績(活動指標)】 相談・検査件数(延べ)			【取り組みの成果(成果指標)】			
<目標> 1 件 <実績> 2,289 件 達成度 4 (概ね達成できた)			<目標> 1 件 <実績> 2,289 件 達成度 4 (概ね達成できた)			
相談件数:972件 検査件数:1,317件			HIV検査普及週間(6月)や世界エイズデー(12月)にあわせ、駅での啓発品配布やホームページ等にて、HIVや検査についての普及啓発を図った。また、新成人を対象にHIVに関しての理解と検査促進を目的に啓発資料を配布し、心配や不安がある人が、匿名・無料で検査・相談を行えるようにした。			
事業の評価						
B (概ね順調に取り組んでいる)						
<H29実績> B						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
相談・検査来所者と普及啓発の対象者にずれがある。検査希望日時が現在実施している検査日以外の場合もある。			青年期・壮年期の男性相談・検査利用者が多いため、女性に対する普及啓発を行う。検査を受けやすい体制を整えていく。			

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 3 生涯を通じた心身の健康づくり
 取り組みの方向 (3)防災の分野における男女共同参画の視点の配慮

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

035	事業名	防災活動における女性の参画促進	課所 事業費	危機管理課 —
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
非常時においても男女の人権が尊重され、また防災分野における方針決定過程への女性の参画が拡大されるよう、防災訓練においても男女共同参画の視点を踏まえる。		市が主催する地域の防災訓練において、女性の参加を促す。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 平成30年度に開催した「越谷市・南越谷地区合同総合防災訓練」において、自治会、中学生等の参加団体に対し、事前説明会でも男女共同参画の必要性を伝えた。その結果、参加総数2,186人に対し、女性の参加者は875人(40%)となった。				
【活動実績(活動指標)】 防災訓練の実施回数		【取り組みの成果(成果指標)】 防災訓練の女性の参加割合		
<目標> 1 回 <実績> 1 回		<目標> — % <実績> 40 %		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 4 (概ね達成できた)		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		訓練参加自治会(27自治会)、南越谷地区その他の団体としては、1,489人に対し、女性の参加者は674人(45%)となった。		
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
防災訓練における女性参加割合を増やすためにも、女性が参加しやすい環境と啓発が必要である。		女性の参加しやすい環境を整えるとともに、より役立つ実践的な訓練内容等(避難訓練、避難所開設訓練)を検討する。		

036	事業名	防災備蓄品における女性への配慮	課所 事業費	危機管理課 1,105,920円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
被災時における男女のニーズの違いを把握し、備蓄品について女性への配慮を行う。		特に女性が必要と思われる用品を備蓄品として確保する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 簡易間仕切り、女性用下着セット等、特に女性に配慮する用品について、備蓄計画に基づき購入した。				
【活動実績(活動指標)】 主な女性向け用品の備蓄率		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 83 % <実績> 76 %		<目標> <実績>		
達成度 4 (概ね達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		長期的な備蓄計画に基づき、目標備蓄数量に向けて購入を進めた。		
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
女性に必要なと思われる備蓄品目や備蓄数について、再検討する必要がある。		有識者の意見や被災地の事例などを参考に検討を進める。		

基本目標 II 男女がいきいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 3 生涯を通じた心身の健康づくり
 取り組みの方向 (3)防災の分野における男女共同参画の視点の配慮

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

037	事業名	防災活動における男女共同参画啓発の取り組み	課所 事業費	男女共同参画支援センター 50,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
防災分野における男女共同参画を推進する。		防災における女性リーダー養成のための講座等事業を実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 女性が地域防災分野でリーダー役割を担えるようエンパワーメントするとともに、地域が女性の参画や活動を後押しするための土壌をつくることを目的とした2回講座「福島の避難所で見えたもの～女性相談員の経験から考える地域防災～」を実施した。①2/24「みんなが安心できるまちにするために」②3/10「女性が地域で力を発揮するために」				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
実施事業数		達成度 5 (十分に達成できた)		
<目標> 1 回 <実績> 1 回 達成度 5 (十分に達成できた)		<目標> 1 回 <実績> 1 回 達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:77人(女性58人、男性19人) 募集人数:80人(第1回50人、第2回30人)		「男女共同参画の視点が防災に必要なことがよくわかった」「災害時の女性の力の重要性は講演で耳にするが、なかなか自治会内の男性優先の考え方が改善されないのが現状。防災研修や防災訓練等を通じて、少しずつ理解していただけるように意見を伝えたい」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		地域の防災力である「共助」機能を高めるためには、男女共同参画や多様性に配慮する視点が必要であり、意識的に地域のさまざまな人の意見を聞くことが大切であるとの気づきを促すことができた。まずは女性自身が意識を変えリーダー役割を担う力を持つ一方で、女性リーダーを支える地域の男性も、女性の参画や活動を後押しする必要があるという考えを共有できた。		
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

基本目標 II 男女がいそいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援
 取り組みの方向 (1) 両立支援のための環境整備の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

038	事業名	送迎保育の実施	課所 事業費	子ども育成課 39,755,092円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
保育園の開所時間内に保育園へ児童を送迎できない保護者に代わり、保育ステーションにおいて送迎及びそれに伴う保育を行うことにより、仕事と育児の両立を支援する。		指定私立保育園への児童の送迎及びそれに伴う保育を行う。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 仕事と子育ての両立を支援するため、利便性の高い駅前2か所(南越谷、北越谷)の保育ステーションにて送迎保育を実施した。				
【活動実績(活動指標)】 利用可能な人数(延べ)		【取り組みの成果(成果指標)】 延べ利用人数		
<目標> 11,720 人 <実績> 11,680 人		<目標> - 人 <実績> 1,526 人		
達成度 4 (概ね達成できた)		達成度 4 (概ね達成できた)		
利用定員×保育ステーション数×送迎保育可能日数(平日+土曜日)= 20人×2か所×292日=11,680人		延べ利用人数が前年度実績(1,726人)に比べ減少した。		
事業の評価				
B (概ね順調に取り組んでいる)		前年度に比べ利用者数が減少したため、今後も登録者数や利用者数の拡大を図る必要がある。		
<H29実績> B				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
利用者数が減少傾向にある。		登録者数や利用者数を増加させるべく、子育て世帯に対し事業の周知を図る。また、送迎保育がより利用しやすいものとなるよう検討していく。		

039	事業名	一時預かりの実施	課所 事業費	子ども育成課 95,049,911円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民の育児と他の活動(就職活動、通院、リフレッシュ等)との両立を支援する。		保育ステーション及び地域子育て支援センターにおいて、一時預かりを実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 地域子育て支援センター9か所と保育ステーション3か所において、保護者の急用時や子育てのリフレッシュを図りたいときなどに、保護者の代わりに児童を保育する一時預かりを実施した。				
【活動実績(活動指標)】 利用可能な人数(延べ)		【取り組みの成果(成果指標)】 延べ利用人数		
<目標> 47,170 人 <実績> 41,200 人		<目標> - 人 <実績> 16,161 人		
達成度 4 (概ね達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
(地域子育て支援センター9か所の合計定員×平成30年度の開所日数)+ (保育ステーション3か所の合計定員×平成30年度の開所日数)=(75 人×244日+25人×198日)+(50人×359日)=23,250人+17,950人= 41,200人		地域子育て支援センター9か所と保育ステーション3か所の平成30年度一 時預かり延べ利用者数=7,158人+9,003人=16,161人		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		年度により増減はあるものの一定以上の利用実績があるため、保護者に広く認知され、保護者の育児と他の活動の両立に寄与していると考えられる。		
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後も適切に事業を実施する。		

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援
 取り組みの方向 (1) 両立支援のための環境整備の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

040	事業名 保育所運営	課所 事業費	子ども育成課 792,268,045円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段	
市立保育所18か所において良質かつ適切な保育サービスの提供に努めるとともに、障がい児保育・延長保育等多様な保育ニーズに応えられるよう、適正な保育所運営の確保に努めることで、市民の育児と他の活動の両立を支援する。		適正な保育所の運営を通じて、良質で適切な保育サービスを提供する。	
事業の実施内容と成果			
【実施内容】 市内保育所18か所において、0歳児から5歳児までの保育サービスの提供、保育と就労等の両立の支援、特別支援保育、延長保育等を実施した。			
【活動実績(活動指標)】 保育所(市立)の定員		【取り組みの成果(成果指標)】 保育所(市立)入所児童数	
<目標> 2,020 人	<実績> 2,020 人	<目標> - 人	<実績> 1,900 人
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)	
(H31年3月時点)			
事業の評価			
A (順調に取り組んでいる)			
<H29実績> A			
認識した課題		課題解決に向けた対応	
各施設の4・5歳児の定員に空きが見られるようになっている。反面、低年齢児、特に1歳児は高い入所率となっており、入所保留児童数及び待機児童数は圧倒的に1歳児が多い。		引き続き適正な保育所運営の確保に努めるとともに、資源の有効活用による需要への対応を検討する。	

041	事業名 延長保育の実施	課所 事業費	子ども育成課 42,568,900円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段	
市民の育児と就労等との両立を支援する。		就労形態の多様化や通勤時間に即した保護者のニーズに適切に対応するため、延長保育を実施する。	
事業の実施内容と成果			
【実施内容】 就労形態の多様化や通勤時間に即した保育ニーズに対応するため市内の認可保育所93か所(公立18、私立25、認定こども園6、地域型保育事業所44)において保育認定時間を越える延長保育を実施した。			
【活動実績(活動指標)】 利用可能な人数		【取り組みの成果(成果指標)】 延べ利用人数	
<目標> 5,008 人	<実績> 5,417 人	<目標> - 人	<実績> 75,997 人
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)	
平成30年度は私立保育所3施設、認定こども園1施設、地域型保育所2施設を新設し、どの施設も保育認定を越えた時間の預かりを実施しており、多様な就労形態に沿った保育ニーズに対応した。			
事業の評価			
A (順調に取り組んでいる)			
<H29実績> A			
認識した課題		課題解決に向けた対応	
特になし。		今後ともに適正に事業を実施する。	

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援
 取り組みの方向 (1) 両立支援のための環境整備の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

042	事業名	病児等保育の実施	課所 事業費	子ども育成課 11,522,900円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民の育児と他の活動との両立を支援する。		病児り患中又は回復期にある生後3ヶ月から小学校3年生までの乳幼児・児童を一時的に保育する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 社会福祉法人に委託している市内1か所の専用保育室で定員5人に対し看護師1人、保育士2人を配置し運営した。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> <実績> 達成度 5 (十分に達成できた)		延べ利用人数 <目標> ー 人 <実績> 341 人 達成度 5 (十分に達成できた)		
問い合わせ:49件 新規登録者数:231件 利用予約:777件(うち解約436件)				
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		病児保育室の利用人数は前年と同じ実績となった。児童が病気であっても安心な預け先として、働く保護者に認識されている。		
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後の適正に事業を実施する。		

043	事業名	保育所(園)入所(園)事業	課所 事業費	子ども育成課 4,695,252,429円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民の育児と他の活動との両立を支援する。		多様化する保育需要に対応するため、市内の民間保育施設(私立保育園、認定こども園、施設型給付を受ける幼稚園、地域型保育事業所)及び市外の保育施設の保育の実施を委託する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 市内の民間保育施設76か所(私立保育園25か所、認定こども園6か所、施設型給付を受ける幼稚園1か所、地域型保育事業所44か所)及び市外の保育施設に、市内児童の保育を委託した。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> <実績> 達成度 4 (概ね達成できた)		市内民間保育施設、市外委託保育延べ人数 <目標> ー 人 <実績> 48,502 人 達成度 4 (概ね達成できた)		
民間保育施設の新設、定員の増員、保護者の利便性等の向上となる市外における保育の実施委託希望を汲み取り、依頼するなど様々な取組を実施したが、待機児童を減らすことができなかった。(平成29年度43人→平成30年度45人)		待機児童を減らすことはかなわなかったが、民間保育施設の新設、定員の増員や保護者への丁寧な情報提供を行ったことにより、昨年度より多くの児童の保育を実施することができた。		
事業の評価				
B (概ね順調に取り組んでいる)		民間保育施設の新設や定員の増員に加え、保育施設の年齢別空き状況等を積極的に情報提供し、また、市外の保育施設を希望する児童に関する相談や委託先市町村との協議を行うことで、昨年度より多くの児童について保育の実施をすることができた。(市内民間保育施設、市外委託保育延べ人数 平成29年度47,339人→平成30年度48,502人)		
<H29実績> B				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
入園を希望する保護者に対し、可能な限り多くの選択肢を提供していく。		窓口の申込受付では、今後も保護者からの希望を踏まえ、適切な情報提供を行っていく。		

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援
 取り組みの方向 (1) 両立支援のための環境整備の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

044	事業名	学童保育室運営	課所	青少年課	事業費	693,943,531円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
市民の育児と他の活動との両立を支援する。			保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対して、適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図るため、指導員による学童保育を運営する。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 市内48か所の学童保育室において、保護者が就労等により保育のできない小学生の児童に対して、放課後の遊びや生活の場を提供した。						
【活動実績(活動指標)】 公立学童保育室入室児童定員			【取り組みの成果(成果指標)】 公立学童保育室延べ利用人数			
<目標> 2,924 人 <実績> 2,897 人 達成度 4 (概ね達成できた)			<目標> - 人 <実績> 32,743 人 達成度 5 (十分に達成できた)			
平成30年度は、蒲生南、蒲生、大袋北、大袋東、及び越ヶ谷学童保育室において定員の拡大を図った。今後も待機児童の解消及び保育環境の拡充を目指して施設整備事業を推進していく。			入室を希望する児童が一人でも多く利用できるよう、途中退室や入室辞退により生じた空き枠に対して毎月入室選考を実施し、受入れ児童の増加に努めた。			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)						
<H29実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
特になし。			今後とも適正に事業を実施する。			

045	事業名	ファミリーサポートセンター事業の充実	課所	子育て支援課	事業費	10,044,000円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
市民の育児と他の活動との両立を支援する。			子育ての援助を受けたい方・行いたい方を地域でコーディネートするファミリーサポートセンターを運営するとともに、病児・緊急対応強化事業として、緊急サポートセンター事業を実施する。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 保育施設等への送迎や一時預かりなど、会員同士による相互援助活動をコーディネートするファミリーサポートセンターを運営し、仕事と育児の両立を支援した。						
【活動実績(活動指標)】 提供会員数			【取り組みの成果(成果指標)】 利用件数			
<目標> 395 人 <実績> 351 人 達成度 4 (概ね達成できた)			<目標> - 件 <実績> 4,286 件 達成度 5 (十分に達成できた)			
			利用希望に対し、適切なコーディネートを行い、相互援助活動につなげた。			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)						
<H29実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
特になし			今後とも適切に事業を実施する。			

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援
 取り組みの方向 (1) 両立支援のための環境整備の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

046	事業名	事業者に対する仕事と育児の両立支援の啓発	課所 事業費	子育て支援課 —
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市内の事業者に、仕事と育児の両立支援について普及・啓発を行う。		市内の事業者における、育児休業が取得しやすい環境の整備や子育ての時間を確保するための取り組み、その効果などを、事業者に周知する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 市内事業者において仕事と育児の両立支援が推進されるよう、こしがや子育てネットを活用して情報提供を行った。				
【活動実績(活動指標)】 周知の回数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 1 回 <実績> 1 回 達成度 5 (十分に達成できた)		<目標> <実績> 達成度 5 (十分に達成できた)		
妊娠、出産、育児を支える職場の環境・体制に関する情報を発信した。		こしがや子育てネットを通じて、多くの企業に仕事と子育ての両立支援に関する啓発を行うことができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

047	事業名	障がい者介護支援	課所 事業費	障害福祉課 9,880,650円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
介護者の負担軽減を図ることで、介護と他の活動の両立を支援する。		在宅の心身障害者の地域生活を支援するため、一時預かり・派遣による介護サービス・外出援助等を実施する登録サービス提供団体に補助金を交付する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 一時預かり、派遣による介護サービス、外出援助等を行う。				
【活動実績(活動指標)】 利用登録者数(障がい者)		【取り組みの成果(成果指標)】 延べ利用時間数		
<目標> 258 人 <実績> 277 人 達成度 5 (十分に達成できた)		<目標> ー 時間 <実績> 5,206.5 時間 達成度 5 (十分に達成できた)		
当該事業の目的は、緊急時等の一時的な利用であるため、実際の利用者数と登録者数では差異が生じる。しかし、登録者数の増加は、市民への当該事業の周知が進んでいると考えられ、目標は達成できたと考えられる。		事業の内容から、目標値の設定は難しいが、今年度の利用時間数と昨年度の利用時間数(4,024時間)を比較すると、利用時間数は増加している。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
平成31年3月31日現在、越谷市に登録している事業所は、21か所あるが、市内の事業所は5か所のみとなっており、利用登録者が緊急時に利用できないことがある。		市内及び近隣の事業所から団体登録の希望があれば登録を進めていく。また、利用登録者が緊急時に利用できない場合は、利用者の状況を確認しながら、他のサービスの利用を進める。		

基本目標 II 男女がいきいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援
 取り組みの方向 (1) 両立支援のための環境整備の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

048	事業名	障がい児介護支援	課所 事業費	子育て支援課 11,960,100円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
介護者の負担軽減を図ることで、介護と他の活動の両立を支援する。		在宅の心身障害児の地域生活を支援するため、一時預かり・派遣による介護サービス・外出援助等を実施する登録サービス提供団体に補助金を交付する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 一時預かり、派遣による介護サービス、外出援助等を行う。生活サポート事業を実施し、サービス提供団体に補助金を交付した。またサービスを受けた時間数に応じた自己負担金について、障がい児の保護者の所得に応じた階層区分により補助額を決定し、介護者の負担を軽減した。				
【活動実績(活動指標)】 利用登録者数(障がい児)		【取り組みの成果(成果指標)】 延べ利用時間数		
<目標> 297 人 <実績> 251 人		<目標> - 時間 <実績> 4,940 時間		
達成度 4 (概ね達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
生活サポート事業により、在宅の心身障がい児の地域生活を支援した。		介護者の負担を軽減した。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後も適切に対応する。		

049	事業名	介護(予防)サービス事業の実施	課所 事業費	介護保険課 16,299,327,693円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
介護保険サービスの実施により家族の介護に関する負担を軽減することで、介護と他の活動との両立を支援する。		要介護及び要支援者が、介護を必要とする程度に応じて利用した介護(予防)サービスの費用を介護保険から給付する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 要介護及び要支援者が利用した居宅サービス、施設サービス、地域密着型サービス等の費用について、利用者負担額(1割、2割又は3割)を除いた額を、埼玉県国民健康保険団体連合会を通じ、介護サービス提供事業者へ支払った。低所得者に対しては、経済的利用により介護サービスを抑制することのないよう、利用者負担の軽減を行い、適切な介護サービスの利用を促進した。				
【活動実績(活動指標)】 介護(予防)サービスの年間利用件数(延べ)		【取り組みの成果(成果指標)】 介護(予防)サービス利用率		
<目標> 286,000 件 <実績> 299,947 件		<目標> 9.83 % <実績> 10.53 %		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
		介護(予防)サービス利用者数÷65歳以上高齢者数×100		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H29実績> B				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
要介護及び要支援者が適切なサービスを受けられているか確認する必要がある。		要介護及び要支援者のケアプランの点検を行うことで、ケアプランの質的向上を図り、併せて事業者の介護サービスに対する意識を高め、不適切なサービス提供を防止する。		

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援
 取り組みの方向 (1) 両立支援のための環境整備の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

050	事業名	介護保険に関する情報提供	課所 事業費	介護保険課 1,166,400円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
介護保険制度の周知を図り、介護保険サービスの利用を促進し、家族の負担を軽減することにより、家族介護と他の活動との両立を支援する。		介護保険制度について、広報こしがや等を活用したPRを行うとともに、説明会や講習会等を開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 介護保険に関する説明会の開催時や要介護認定等の新規申請者に対する説明用資料として、介護保険パンフレット「あんしん介護保険」を作成し、介護保険制度の趣旨の普及を図った。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
説明会等の回数		パンフレットの配布部数		
<目標>	10 回	<実績>	8 回	<目標>
達成度	4 (概ね達成できた)	<実績>	15,000 部	達成度
			5 (十分に達成できた)	
平成30年度は目標値に対する達成度が不十分だったものの、高齢化が進み、要介護認定者も増加していく中で、市民が介護保険制度を理解し、また、介護保険サービス事業者が適切に介護サービスを提供できるよう、出前講座等の説明会において介護保険制度に関する情報提供をする。		地区センター、出張所、地域包括支援センター等の公共施設にパンフレットを配架することにより、市民が介護保険制度を理解する上で、よりよい環境づくりに努めた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		説明会等の回数は、目標値に達成していないものの、介護保険制度の周知や、介護認定申請における窓口での案内、さらに、出前講座等での配布資料としてパンフレットを活用していることから、順調に取り組んでいる。		
<H29実績> C				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
これまでの取り組みにより、一定の効果を挙げたが、介護保険制度の適正な利用を推進するため、制度のさらなる周知を図る方法について、今後も検討していく必要がある。		多くの市民の方に周知していく必要があることから、制度について、印刷物や地域包括支援センターによる利用のPRを行う。また、制度の周知方法について、市発行の広報、市ホームページ等を積極的に利用し活用を図るとともに、出前講座の活用をより一層促していく。		

基本目標 II 男女がいきいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援
 取り組みの方向 (2) 家庭・地域生活における男女共同参画の促進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

051	事業名	両親学級の開催	課所	市民健康課	事業費	930,000円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
妊婦とその配偶者に、育児の相互協力を促進するための意識啓発を図る。			新生児の保育の講義や沐浴実習など、妊娠・出産・育児に関する正しい知識を両親で習得するための講座を開催する。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 3日間を1コースとして、1日目妊娠中の栄養・調理実習、2日目歯科保健・妊婦体操、お産の経過、3日目沐浴実習・新生児の保育・妊婦シミュレーションを行なった。						
【活動実績(活動指標)】			【取り組みの成果(成果指標)】			
参加延べ人数			満足度			
<目標> 1,450 人 <実績> 1,430 人			<目標> 95 % <実績> 96.8 %			
達成度 4 (概ね達成できた)			達成度 5 (十分に達成できた)			
3日間コース延べ参加人数1,162人、3日目のみ参加人数268人となった。			母親学級・両親学級に参加してよかったと回答した方が96.8%と満足度が高かった。			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)			今年度から母子健康手帳発行時に子育て世代包括支援センターで妊婦の全数面接を開始し、より細やかな母親学級・両親学級の案内が可能となったことで、参加延べ人数が目標値に近づいた。また、参加した多くの方が、妊娠・分娩・育児に関する知識・理解を深め、不安の軽減を図ることができた。			
<H29実績> B						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
職業を持っている妊婦が増加していることから、日程に合わせた教室の参加が難しい方もいることが考えられる。妊娠・出産・育児について気軽に相談できる体制づくりが必要である。			今後も、子育て世代包括支援センターと連携を取り合って、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援をしていく。			

052	事業名	男性の男女共同参画推進のための事業の実施	課所	男女共同参画支援センター	事業費	40,000円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
男性に家庭や地域活動などへの参画を促す意識を啓発する。			さまざまな世代に対応したテーマを設定して講座等を開催する。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 男性が家庭や地域活動に参画するにあたり、人間関係を構築していくうえでコミュニケーションの果たす役割と重要性や、職場環境とは異なるコミュニケーションの取り方を身につけることの大切さに気づく講座を実施した。5/13「男性のためのコミュニケーションセミナー」また、1/16～1/29には、写真展「スウェーデンのパパたち」を開催した。						
【活動実績(活動指標)】			【取り組みの成果(成果指標)】			
実施事業数			実施事業数			
<目標> 1 回 <実績> 2 回			<目標> <実績>			
達成度 5 (十分に達成できた)			達成度 5 (十分に達成できた)			
参加人数:19人(男性19人) 募集人数:20人			講座参加者からは、「新しい“気づき”を得ることができた」「いろいろな考え方があることに寛容でありたいと思った」などの感想があった。 写真展の展示物はスウェーデン大使館より借用した。育児休業中の父親の写真を見せることで育児について考える機会を提供できた。			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)			講座では、男女のコミュニケーションの取り方の違いを理解し、職場以外での関係性を作るコミュニケーションについて学ぶことができた。さらに、平成30年度は写真展「スウェーデンのパパたち」も開催し、多様な考え方や価値観を容認する気持ちが生まれることにより、男性の家庭や地域への参画を促し、男女共同参画を推進する一助になった。			
<H29実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
特になし。			今後とも適切に事業を実施する。			

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援
 取り組みの方向 (2) 家庭・地域生活における男女共同参画の促進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

053	事業名	男性の生活自立能力開発のための講座の開催	課所 事業費	市民健康課 415,627円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
男性の家事などの生活能力向上を促し、家庭内の固定的性別役割分担の見直しを図る。		男性を対象に、調理技術や栄養知識などを学ぶための講座を開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 基本の和食を中心とした献立についての講話と調理実習(男の料理教室)				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標> 80 % <実績> 63.2 %		<目標> 90 % <実績> 98 %		
達成度 3 (達成まで今一歩)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:182人 募集人数:288人(24人×12回)				
事業の評価				
C (より積極的な取り組みが必要) 参加者の満足度が高く事業成果は得られたが、参加率はやや少なかった。				
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
より多くの男性市民が興味関心を持つように取り組む。		内容や広報の仕方などについて工夫を行っていく。		

054	事業名	父親サロンの開催	課所 事業費	子育て支援課 -
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
父親に、育児の相互協力を促進するための支援を行う。		未就学の子どもを持つ父親同士の交流の場として父親サロンを開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 未就学の子どもを持つ父親を対象に父親サロンを開催し、相談や情報提供を行ったほか、父親同士の交流を促進し、父親の育児参加を支援した。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
延べ参加人数		達成度		
<目標> 200 人 <実績> 335 人		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
気軽に参加しやすい講座や参加型イベント等で父親同士の交流促進を図った。				
父親サロンを開催し、父親が気軽に相談できる場として積極的に活用していただいたほか、父親を対象とする講座や父親参加型のイベントを開催し、サロンを利用したことがない父親でもサロンを利用しやすくなるようきっかけ作りにも取り組んだ。				
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援
 取り組みの方向 (2) 家庭・地域生活における男女共同参画の促進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

055	事業名	父親を対象とした子育て講座の開催	課所 事業費	児童館コスモス 17,500円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
父親に、育児の相互協力を促進するための意識の啓発を図る。		父親を対象とした子育て講座を開催する。(両親での参加も可能)		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 父と子のスキンシップの機会をつくることを目的に、父子で楽しめるリズム遊びや製作を中心に5回開催。ただし、一人親家族等に配慮し、保護者であれば参加可能とした。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標> 100 % <実績> 80 %		<目標> 100 % <実績> 80 %		
達成度 4 (概ね達成できた)		達成度 4 (概ね達成できた)		
参加人数:199人(父親:54人、母親:52人、子ども:93人) 募集人数:250人				
事業の評価				
B (概ね順調に取り組んでいる) 昨年度よりも微増であり、かつアンケートによる満足度も高かった。				
<H29実績> C				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
父親が参加しやすい環境づくりに努める必要がある。		cityメールを活用し、PRに努めていく。		

056	事業名	父親を対象とした子育て講座の開催	課所 事業費	児童館ヒマワリ 36,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
父親に、育児の相互協力を促進するための意識啓発を図る。		父親を対象とした子育て講座を開催する。(両親での参加も可能)		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 父子で楽しめる運動遊びや制作等を中心に年9回開催。ただし、ひとり親家庭等に配慮し、保護者であれば参加可能とした。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標> 100 % <実績> 70 %		<目標> 100 % <実績> 100 %		
達成度 3 (達成まで今一步)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数 218人(父親63人、母親37人、幼児111人、その他7人) 募集人数:310人 前年より参加人数が減ったため。				
事業の評価				
C (より積極的な取り組みが必要) 父と子が楽しくスキンシップがとれるよう事業内容に工夫を凝らし、リピーターは増えてきたものの、結果としては昨年度よりも参加人数は減ってしまった。参加者の満足度はとても高いため、今後も更に魅力的な事業になるよう工夫していきたい。				
<H29実績> B				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
父親が参加しやすい環境づくりに努める必要がある。		Cityメールや電子申請を活用し、PRに努めていく。		

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援
 取り組みの方向 (2) 家庭・地域生活における男女共同参画の促進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

057	事業名	育児・介護等と仕事の両立支援のための事業の実施	課所 事業費	男女共同参画支援センター 51,946円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
仕事と育児・介護等の両立を支援する。		働きながら子育てや介護等を両立することに関する講座等事業を実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 介護離職の現状や問題点を理解するとともに、仕事と介護を両立するための実践的なヒントを学ぶ講座を実施した。越谷市内の「介護者サロン」等の情報提供と運営団体を交えた交流会を行い、働きながら家族を介護する不安や悩みの解消につなげ、介護離職の防止を目指す内容とした。1/27「介護で仕事を辞めないために！がんばりすぎない働く人の介護」				
【活動実績(活動指標)】 実施事業数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 1 回 <実績> 1 回		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:41人(女性33人、男性8人) 募集人数:30人		「講師の方が楽しそうで、明るくて“介護”というイメージの暗い感じとは違って、ビックリした。内容も一つ一つが納得することが多く、とても得ることが多いと感じた」「最初は交流会に気が引けたが、ファンリテーターの存在により逆に有効な機会を得られました」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		実際に遠距離介護を行う男性介護者に講師を依頼したことにより、講師が実践する介護を「介護と仕事の両立」に役立つヒントとして紹介することができた。さらに、講師の明るく楽しい語り口は、参加者の両立に対する不安感を軽減する効果があった。		
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		